



ふくちゃんのGW2005 / 海を満喫編

2005年5月9日掲載

乳児がいると、なかなか遠出もできない。しかし、ゴールデンウィークということもあり、外出することにした。

行き先は、ふくちゃんとしては定番の「湘南横浜」のドライブ。ここならある程度道も知っているのも、楽といえば楽である。

今回は、2回にわたりその模様をお送りしよう。

ある祭日、昼過ぎに自宅を出発。環八から第三京浜に乗る。

港北ICに近づくと、前方の車の動きがおかしい。それも1台2台ではなく、明らかに障害物か何かをよけているような感じである。

原因がわかった。積み荷と思われる一斗缶が、本線上に数個散乱していたのだ。

これでは、事故も起きかねない。近くの非常電話から道路公団に通報した。

通報を終え、保土ヶ谷料金所を通過。今回は、今までとは違う通過方法なのだ。

何と、我がグレカリブにETCを装着したのである！これがあれば、料金所もラクラク通過できるのである。

第三京浜から横浜新道へ、戸塚料金所の手前にあるPAで休憩。軽食の調達である。

横浜新道を降り、国道1号線などを使い藤沢市内を通過。海沿いの国道134号線に入る。

ところが、134号に入ると渋滞が。海沿いの景色がいい道路は、やはり渋滞してしまうのだ。

それでも、江ノ島の入口まで来るとすき始める。工事により1車線に絞られてしまうのと、江ノ島に行きたい車の右折渋滞が重なっていたのだ。

左に電車、右に海という「典型的な湘南の景色」の七里ヶ浜にさしかかる。海岸には多数の人が訪れていた。

車を降り、海岸へ。ここは、嫁さんと付き合っ最初にお泊まりデートをしたときに訪れた思い出の地である。

そんな土地に、今子供とともにいるのが何とも不思議。近くにいたカップルを呼び止め、家族3人の写真を撮ってもらおう。

せっかくの写真なのに、我が子は腕の中で熟睡

中。波の音が心地よいということは、本能で感じているのだろう。

車に戻り、さらに海岸沿いを逗子へ。逗子からは山道を進み、横浜のアウトレットモールに向かう。

アウトレットモールに着くと、嫁さんは1人で買い物、私と息子は暇つぶしである。男同士、つくづく「女は買い物が好きだなあ」と思うのであった。

ところで、このアウトレットモールはマリーナと併設されている。ヨットやクルーザー、海を見ていると結構時間もつづれるのだ。

嫁さんが買い物を済ませ、夕食をどうしようかと相談。「ここで済ますか、中華街で済ますか」の選択である。

結局、帰り道である中華街で夕食を取ることに決定。車を中華街に進める。

[\[トップページ\]](#)

この続きは、[こちら](#)からどうぞ。



ふくちゃんのGW2005 / 中華を満喫編

2005年 5月23日掲載

今月は、2回にわたりゴールデンウィークのドライブをお送りしているが、その2回目。前は[こちら](#)をご覧ください。

21時過ぎに中華街到着。しかし、店に入ると無情にも「オーダーストップです」との返事が。

しかも、1軒2軒ではない。店の明かりはついていて、たいていの店はすでに21時にはオーダーストップとなってしまうらしい。

そのため、なかなか店が決まらない。中華街を、ベビーカーを押している家族が飯にありつけず困り果てているのだ。

そこで、今まで数年間にわたってチャーシューまんなどは食べたことはあるものの、中に入って食事をしたことがない店へ。実は、「つれづれWEB」初期も初期、オープン早々の1997年7月1日に、「チャーシューまん普及促進委員会」で紹介しているのだ。

この店なら、ある意味安心である。何と、深夜3時まで営業しているからなのだ。

今まで入ったことのない店内に入り、7品で2100円のコースを注文する。この時間は、客が少ない。

やはり、時間がピークよりも遅いからか？ でも、ちょっとずつ客が増えてくる。

オーダーからしばらくすると、1品目が登場。さらに、少し時間をおいて続々と料理が登場する。

これがなかなかの美味！ 箸が進むのである。

ここで、1つ気になったことがある。中でも、鶏の唐揚げを塩で食べたとき、口の中に独特の香りが広がるのだ。

中華食材屋のにおいというか、香草のにおいである。人によって苦手かもしれないが、ある意味「本場」の香りだと言えよう。

さらに、気になることがもう1つ。実は、我々以外の客の話をよく聞くと、ネイティブな中国語なのだ。

我々の席の近くにカップルもいたが、女性は日本語、男性は日本語も中国語も話していた。ということは、この店は華僑も安心して食べられる本場の中華を出す店ということになるのだ!!

中華街の店は、大きく以下の2つに分類される。1つは日本人の口にあった中華を出す店、もう1つは本場の味を出す店である。

「中華の名店」といわれる店でも、意外にも前者であることが多い。今回訪れた店は、後者に当たるのだ。

実は、中国語がベラベラの友人を連れてこの店のチャーシューまんを食べさせたことがある。その際、せっかくだから店員と中国語で会話させてみた。

友人は中国人の知り合いが多く、北京への留学経験もあるので、今度は彼を連れてこの店の料理を味わってもらおうと思った。果たして、懐かしがるのだろうか？

さて、料理も一通り食べると、最後のデザート。その間、我が息子はおとなしく寝ていた。

帰りが遅くなるので、早々に引き上げる。帰りも、第三京浜経由で自宅に戻る。

さてさて、次回のお出かけはいつ、どこになるのやら。

[\[トップページ\]](#)